

## 定期報告

2011年5月17日

天候:晴れ 温度:22°C 湿度:50% 風:なし

放射線量:0.11  $\mu$  Sv/h:持参線量計 palmRAD Dosimeter Model 1621M (BNC)

食事 朝:サンドイッチ、ゆでたまご、フルーツ

昼:焼きそば、しょうが焼き、サラダ、スープ、フルーツ

夜:チャーハン、マーボー茄子、手羽トマト煮、フルーツ

氏名:(薬剤師) 西村宜朗

体調:良好

行動日誌

07:00 早い時間にもかかわらず社員の皆さんに見送られ出発。就業時間前にもかかわらず様々な事業所の皆さんから見送られ、皆さんの分まで頑張ろうと気を引き締めて出発。

08:30 高速移動中。今回は対向車に関東ナンバー、自衛隊が少ない。  
前回の祝日との違いはあるが、撤退が十分進んだのか？

09:10 東和IC到着

11:00 釜石市到着、随分と瓦礫の撤去が進んだようだ。  
10日ぶりに訪れたが自衛隊の能力に驚く。

11:30 大槌高校到着。藤川医師チームと合流。  
弊社総務担当による昼食を一緒にごちそうになり、口頭での現状確認。

13:00 薬局業務開始。引き継ぎを受けつつ調剤業務。

16:00 本日の業務終了

16:30 藤川医師と近隣の散策  
前回(5月3日~7日)の状況説明と現状の確認

18:30 藤川医師、曾我看護師とともに夕食準備

19:20 夕食、談笑

20:30 持参したDVDと教室のプロジェクターで映画鑑賞

22:00 就寝

## 引継ぎ事項

避難所への救急箱設置について

前任者より避難所へ置き薬のような救急箱の設置を避難所責任者へ提案している旨を引き継いだ。藤川医師へ確認し、医師として受診の必要性のある薬については少量に、個人で調整してもかまわない薬については多めに確保できるように手配した。

対策会議より

ある避難所(大槌高校ではないらしい)では食事として配られたパンから食中毒が発生したらしい。支援によるものが古くなったのか、季節的なものなのか不明だが、我々の食事、

救護所の薬についても十分注意したい。

避難所住民との会話から

- ① 避難所では消灯が22:00。勉強が必要な学生は電気が点いている渡り廊下のわずかなスペースで勉強している。かわいそうに思うが、22:00消灯でも遅いという高齢者もいる。共同生活の難しさがでてきているようだ。
- ② 欲しいたばこが2ケースまでしか買えない。近くの商店では2箱までだが駅にいけば5箱まで買える、月金が仕入れ日なのでその時に買うのがいいと避難所の住民同士で情報交換をしていた。まだまだ足りない物資もあるのだろう。
- ③ 目がモヤッとするが、眼科は大槌病院まで行かないといけなくて難しい。薬剤師として何か良い薬はもっていないか？  
→まずは救護所で診察を受けてほしい。必要に応じて投薬もしくは専門医を紹介されるかもしれないことを伝え、明日受診の約束をした。

2週間前とは大槌町も瓦礫の状況がガラッと変わっている。自衛隊の努力の賜物だと思うが、まだまだ先は見えない。スーパーやドラッグストアが再開し、屋根に乗り上げた船の撤去など表面的には復興は進んでいるように見える。

しかし、我々の車のタイヤに釘が刺さり、幸いパンクはなかったが細かい部分ではまだまだ注意が必要だ。さらに、2週間減っていない避難者の数を考えると復興にはまだ先が見えてこない。また、避難所では十分な食事や医療を無償で受けられる。一度、自宅に帰ったが避難所に戻る人もいようで、今後の救護所の案内についても考えていく必要があるようだ。

氏名(薬剤師)石山 郁弥

体調:良好

行動日誌

07:00 弘前出発

09:10 東和 IC

11:30 大槌高校到着、藤川医師チームと合流

12:00 藤川医師チームと情報交換を兼ねた昼食

12:30 坂本薬剤師と愛知チームなどの関係者へ挨拶

13:00 午後の診察開始

14:30 つくし薬局から依頼分の薬が届いた

16:00 診察終了

16:20 釜石対策本部へ出発

17:00 釜石災害支援対策本部会議

19:20 大槌高校着

19:30 藤川医師チームと夕食

その他

避難所への常備薬として数種類の OTC が入った救急箱が支給された。藤川医師チームと内容を確認し足りないものを話し合い、必要なものは釜石での会議の際に中田薬局へ依頼・補充することになった。

診察終了後、身長を計測したいと高校生が保健室へ。座高計や体重計などは見つかったが身長計は保健室、物置等に見当たらず誰かが持ち出したと考えられる。18日にまた保健室に来るとのことだったので見つけてあげたい。

私たちの使用した車の右側後方のタイヤに釘が刺さっていた。タイヤ表面のみだったので抜いて様子を見ることに。数分後確認したが空気は抜けていなかった。

#### 釜石災害支援対策本部会議での主な連絡事項

- ・各避難所での患者数の動向。
- ・ある避難所で、パンの期限切れを食べてしまい下痢などの症状を訴える人がでてきた。すべての食品を管理することは難しいが、余裕があるようなら食品も確かめてほしいとのこと。

はじめて釜石市、大槌町の現状を肌で感じ、皆さんが復興に向けて頑張っている姿に大きな衝撃を受けた。仮設の住宅も多く建設されていたので多くの避難者が移住できるように願いたい。しかし、2 か月経った現在でも、大量の瓦礫や数多くの傾いた建物がみられ危険な場所もある。今後、どのように変化していくか確認していきたい。

氏名(総務)佐藤 栄

体調:良好

行動日誌

06:00 起床

07:00 朝食

08:45 ミーティング

09:00 診察開始

09:30 引継ぎ準備、掃除

11:00 みどり保育園 花種子種まき

12:00 昼食

13:00 午後の診察開始

13:30 葛西主任と薬局案内等

16:20 釜石シープラザ カンファレンス参加

18:30 ホテルシーガイアマリンにて入浴

19:30 大槌高校到着。夕食開始

22:00 就寝

災害を受けていても小さな子供たちの、はしゃいでいる声を聞くと少しは勇気がわいてくる。半焼の被害を受けながらも営業しているガソリンスタンドで働く人や、家を新築している人々がいる。自分も少しでも役に立つ仕事をして応援したい

葛西豊誠

体調:良好

行動日誌

07:00 弘前出発

09:10 東和IC

11:30 大槌高校到着

12:00 藤川医師チームと昼食

12:30 坂本薬剤師と関係者へあいさつまわり

13:00 佐藤係長より引継ぎ内容の確認

13:40 現地薬局場所確認

15:30 夕食準備

16:20 釜石災害支援対策本部へ出発

17:00 対策本部会議

19:20 大槌高校着

19:30 藤川医師チームと夕食

道中、目的地に近づくにつれて不安と緊張感がどんどん増えて行った。

釜石の被災地から大槌町までは、報告書の写真とは少し違って整理された景色を見ることが出来た。

河川周りの瓦礫を優先に撤去しているようで、佐藤総務担当も驚くほど撤去作業が進んでいた。

医師、看護師、薬剤師と、形は違うが一緒にチームとして仕事をできる。

よい経験を積んで帰るよう、明日もがんばりたい。